

「リスクの見える化」防災ワークショップ2022を開催します!!

～「南海トラフ地震」への備えはできていますか?～

「南海トラフ地震」及び「南海トラフ地震臨時情報」について、来場された皆さまと一緒に学び、備えと行動を考えるため、**「第10回 中部ライフガード TEC2022」においてワークショップを行います。**

会場では南海トラフ地震対策に関する展示も行いますので、是非、ご来場及びご参加ください!!

《 開催概要 》

日 時：令和4年10月4日（火） 10：00～17：00
令和4年10月5日（水） 10：00～16：00

会 場：ポートメッセなごや 第3展示館（ライフガード TEC 展示会場内 特設会場）
〒455-0848 愛知県名古屋市港区金城ふ頭2丁目2
会場アクセス <https://portmesse.com/access>

内 容：「実施概要」のとおり
参加費は無料です。
参加申込みは不要です。ご都合にあわせてご来場ください。（入退場自由）

主 催：南海トラフ地震対策中部圏戦略会議/あいち・なごや強靱化共創センター

そ の 他：本イベントは「第10回 中部ライフガード TEC2022」の併催行事です。
入場登録・新型コロナウイルス感染症対策等の注意事項につきましては、
「中部ライフガード TEC2022」ホームページをご参照ください。

URL：<https://lifeguardtec.com/>

《 取材について 》

会場での取材を希望される方は、【別紙】による事前登録をお願いします。

《 配布先 》

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞社、
港湾空港タイムス、日本海事新聞社、マリタイムデーリーニュース、海事プレス

《 問合せ先 》

中部地方整備局 防災管理官 もり ただし 森 匡、防災室 建設専門官 てらだ ひろかず 寺田 広和

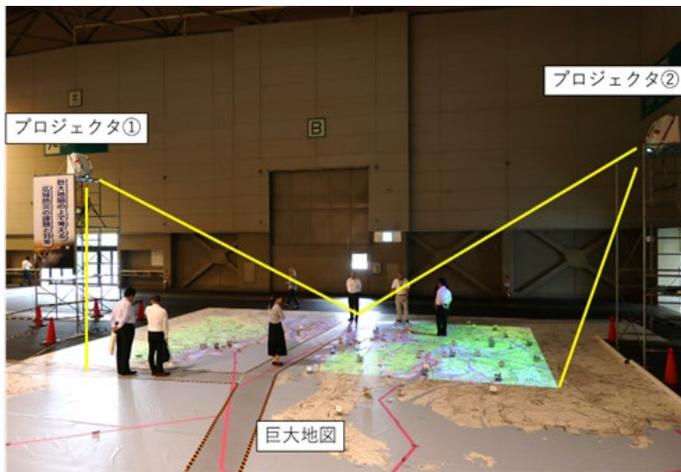
電話番号：052-953-8357、ファックス：052-953-8362

「リスクの見える化」防災ワークショップ2022 実施概要

- 南海トラフ地震対策における8つのテーマについて、ご来場された皆さまも参加できる講座を開催します。
【1テーマ30分程度・参加申込不要・入退場自由です。】
- 講座では、床面に巨大地図を敷きプロジェクションマッピングにて南海トラフ地震発生時の地震動や津波の伝播状況、震度分布や液状化の状況といった被害状況を投影するなど、巨大地震発生時の臨場感を体感しながら、地震対策を学び、備えと行動を考えていただきます。



(ワークショップ 実施状況イメージ)



(ワークショップ 会場設営イメージ)

「リスクの見える化」防災ワークショップ2022
～みて、知って、備える。プロジェクションマッピングで学ぶ南海トラフ地震～

実施日時	テーマ	タイトル	担当機関
10月4日(火) 10時30分～	南海トラフ地震について (総論)	「南海トラフ地震をみる」 ～巨大地図からみえる南海トラフ地震とは～	名古屋大学 名誉教授 福和伸夫 氏
10月4日(火) 13時30分～	南海トラフ地震臨時情報 (発表の流れ)	「南海トラフ地震を知る」 ～南海トラフ地震臨時情報の流れと仕組みを知る～	名古屋地方気象台
10月4日(火) 14時30分～	南海トラフ地震臨時情報 (防災対応)	「南海トラフ地震を知る」 ～南海トラフ地震臨時情報発表に伴う防災対応～	内閣府
10月4日(火) 15時30分～	南海トラフ地震臨時情報 (自治体の取り組み)	「南海トラフ地震を知る」 ～南海トラフ地震臨時情報に関する地方公共団体の取組状況～	愛知県 名古屋市 豊橋市
10月5日(水) 10時30分～	発災時の対応 (被害情報把握)	「南海トラフ地震対応を知る」 ～国土交通省による被災状況の収集・発信について～	中部地方整備局
10月5日(水) 13時30分～	発災時の対応 (医療体制)	「南海トラフ地震対応を知る」 ～南海トラフ地震来襲 そのとき医療体制は…～	中部ブロックDMAT 連絡協議会
10月5日(水) 14時30分～	発災時の対応 (災害廃棄物処理)	「南海トラフ地震対応を知る」 ～災害ごみからみえる対応について考える～	名古屋大学 准教授 平山修久 氏 中部地方環境事務所
	南海トラフ地震への備え (中部圏のこれからの防災)	「南海トラフ地震に備える」 ～この地域が行うべき備えについて考えよう～	名古屋大学 名誉教授 福和伸夫 氏

「リスクの見える化」防災ワークショップ2022 事前登録書

会場での取材を希望される報道機関の方は、事前登録書をご記入の上、期限までにFAXにて送付願います。（送付状は不要です。このままご送付ください。）

期 限：令和4年10月3日（月）17時00分

送付先：052-953-8362

1. 報道機関名 _____

2. 来場者

(1) 来場人数 _____ 人

(2) お名前（複数の場合は代表者のお名前）

(3) 連絡先（電 話） _____

（メール） _____

【注意事項】

- 本イベントは「第10回 中部ライフガードTEC2022」の併催行事です。入場登録・新型コロナウイルス感染症対策等の 注意事項につきましては、「中部ライフガードTEC2022」ホームページ(<https://lifeguardtec.com/>)をご参照ください。
- 当日は、『南海トラフ地震対策中部圏戦略会議ブース』にて受付をお願いします。（受付の際、名刺または身分証のご提示をお願いします。）

【会場】

ポートメッセなごや 第3展示館
 (中部ライフガードTEC展示会場内 特設会場)
 〒455-0848 愛知県名古屋市港区金城ふ頭2-2

会場アクセス

所在地 **ポートメッセなごや**

公共交通機関
 「名古屋駅」(あおなみ線) → 「金城ふ頭駅」下車
 名古屋駅からの所要時間: 約24分/金城ふ頭駅から徒歩8分。

自動車
 伊勢湾岸自動車道 名港中央インター降りてすぐ
 金城ふ頭駐車場をご利用ください。
 (駐車料金) 60分 500円 最大1,000円/回
 ※ポートメッセなごや立体駐車場は営業していません



中部ライフガードTEC会場案内図

会場●ポートメッセなごや第3展示館 (名古屋市国際展示場) ※会場内は禁煙です。

中部ライフガードTEC2022 防災・減災・危機管理展

ワークショップ会場

「リスクの見える化」
防災ワークショップ2022

災害に活かすドローンパネル展
災害とドローンテクノロジー展

プレゼン会場③

建設技術フェア 2022in中部

※詳細は建設技術フェア 2022in中部出展技術 概要集をご覧ください。

南海トラフ地震対策 中部圏戦略会議ブース

L14	あいあいこーせい個別指導塾株式会社	L50	株式会社テララボ
L32	愛知建設協会	L22	東武商事株式会社
L18	株式会社イズワイフ	L24	東洋電産株式会社
L16	一般財団法人 移動福祉センター	L04	内外物産株式会社
L15	株式会社エアシステムサービス	L28	名古屋市住宅都市部環境文化課室/愛知県環境局防災課(部)防災計画課
L12	株式会社エス・アイ・シー	L27	名古屋市防災危機管理課
L03	株式会社エス・アイ・アイ	L26	名古屋市緑区土木局
L06	大塚元工務株式会社	L45	防災協働推進センター
L08	Okayo Japan株式会社	L43	南海トラフ地震対策中部圏戦略会議
L39	西島食品株式会社	L20	株式会社日くく
L13	川上建築株式会社	L37	一般社団法人 日本建築業協会 中部支部
L06	株式会社クイゼ	L38	一般社団法人 日本建築ワンセクター協会 中部支部
L01	愛知産業振興センター 有限会社エムエスエム 株式会社テクノキャブ 株式会社テクノシステム 株式会社 伊豆洋行	L29	機料水産省 東海漁政局
L44	国土交通省 中部運輸局	L10	藤井工務株式会社
L05	特定非営利活動法人 福徳UNHCR協会	L47	株式会社PREHET
L35	ゴムノイキ株式会社	L46	株式会社プロドローン
L11	コンベックス株式会社	L40	株式会社ベタダアドバンス
L17	株式会社福山	L30	防衛省 自衛隊愛知地方協力本部 (4日のみ)
L31	新光産業株式会社	W20	防衛省 自衛隊愛知地方協力本部 (4日のみ)
L07	株式会社興研	L23	豊和工業株式会社
L49	株式会社SkyDrive	L41	ホリカワズ株式会社
L21	株式会社Speccee	L19	防衛化成工業株式会社
L02	石田建設	L09	一般社団法人マンション管理業協会 中部支部
L42	総務省 東海総合連携局	L33	名古屋建設株式会社
W19	中日防災ステーション(株式会社豊田信託)	L36	UR都市機構
L48	株式会社DSA	L25	株式会社吉田SKT